

# リフォームストーリー

リフォームストーリーズ

綿半リフォームのカタチ

長野県の地域文化や気候風土に適應した住まい。住まう人が夢を育み、希望を抱く空間。そして、心が休まり、家族に笑顔が溢れる大切な場所。私たちがご提案するリフォームとは、安心と満足に包まれた「昨日とは違う今日が感じられる」ライフスタイル。

「こだわりのReフォーム」…繋ぐ・結ぶ、間を担う礎として

私どもが考える家とは、四季を通じ、生活の「基点」、人生の「営み」を支える「住まう空間」であり、また個人にとっての夢を育み希望を抱く空間であると共に、心が休まり、笑顔が溢れる、人間にとって最も大切な場所であればならないと考えます。お客様一人一人が思い描いた憧れと願いを、一つ一つ繊細且つ丁寧に実現化していく「こだわりと安心の施工」は基より、お客様が生活した後の、ライフスタイルケアまでも配慮した「こだわりのトータルプランニング」で「安心と満足」に包まれた「昨日とは違う今日が感じられる」ライフアップステージを、住まいの「情報発信基地」として提言・発信し続け、住まい(暮らし)の総合サービス業を目指して参ります。

お客様一人一人が思い描いた憧れと願いを、  
一つ一つ繊細且つ丁寧に現実化していく「こだわReフォーム」

## 家族をつなぎ、 次の世代に継ぐリフォーム

築98年の家

お施主様は築98年経つ旧家の四代目。延床面積約90坪と贅沢な広さながら、少ない収納、各所に段差、寒い部屋…と日々の暮らしには不都合も多かったそう。リフォームはこれらの改善と、この機に家全体の構造も強化したいというご要望がありました。

改修は今ある梁、柱を生かしつつ基礎周りを補強。壁量も増やして耐震性をアップさせ、新築と同じ断熱性を持たせました。また、生活ゾーンは南面に集中させ、家事動線をバリアフリーに。リビングダイニングは隣の部屋との壁を取り払い、家族が憩える大きな空間として配置しました。奥様は「今までは食事が済むと皆サッと居間へ行ってしまい、私だけが台所に。でもこの間取りになって、家族と過ごす時間がグッと増えました。特に何を話さなくても、ひとつの部屋で時間を共有するのがいいですね」とうれしそうです。

今回のリフォームにはもうひとつ、強い思いが込められています。それは『新しい出会い』。今のうちに整えて、お子さんがこれから育む『家族』を迎えたいそうです。「先祖は、よくこんな大きな家を建てたと思いますよ。だから大事に使って託していきたいんですよ。」  
まだ見ぬ六代目がこの広いお座敷を元気に駆け回る日を、この家も心待ちにしていることでしょう。



- 1 漆喰の白と柱のコントラストが美しくよみがえった外観。
- 2 北側の続き間は既存のものを生かして再現。職人の技が光ります。
- 3 段差のあった玄関ホールの床高を整え、各部屋への動線をバリアフリーに。
- 4 暖かい陽差したっぷりのリビングダイニング。床は傷の付きにくい無垢のフローリング。
- 5 2階洋間。磨いた梁は年月を重ねた艶味のある色に。
- 6 タイル張りの寒かったお風呂が、ホテルのバスのように快適に変身。



### お施主さまの声



プランナーさんが女性だったので、細やかな目線でご提案をいただいたこと、また、職人さん達が作り手の視点で私たちの要望を聞いてくれたことなど、コミュニケーションを大切に進めてくださったのがとてもよかったですね。家の引渡し日はたまたま私の誕生日。お蔭様で私と家族への大きなプレゼントになりました。

ご夫婦とプランナー望月さん(右手前)